

国立市地域公共交通会議 御中  
 気付：国立市交通課



2015年9月7日  
 南部地域「くにっこミニ」  
 陳情者代表：竹田征三

国立市地域公共交通会議の「泉ルート見直し案」を受けて（要望書）

H27-3月谷保・南部地域「くにっこミニ」試行運行が国立市議会で採択された後、国立市交通課の説明を受け、また地域意見交換会の中で理解が深まってきました。8月20日交通会議に市側から「泉ルート見直し案」が提出されましたが、三中周辺へのルートが欠落しており、陳情書の趣旨に立ち戻り運行ルートおよび停留所設置場所の基本点を以下要望します。

記

1. 運行ルート

- 1) 谷保駅 → 甲州街道 → 石田街道 → 矢川駅 → 谷保駅
- 2) 「泉ルート見直し案」のオレンジルートを別紙の通り「城山さとのいえ」または「国立三中周辺」まで広げるルートに変更する。

2. 停留所の設置場所は可能な限り多数とする。

上記要望事項の根拠

1. 南部地域の特殊性

- 1) 南部地域の当該地区（石神、中平、坂下、千丑、久保の地区）には路線バスが運行されていません。
- 2) 当該地区（石神、中平、坂下、千丑、久保の5地区）は道路が狭く、ハケがあるため坂道が多く買い物、通院、外出、通学、通勤、女性の夜道帰宅等日常生活に危険と困難を強いられています。とくに高齢者は大変です。「くにっこミニ」の運行を検討する中で当該地区は道路運送法の「車両制限令」を満たす道路は一部分に限られ、地区周辺の甲州街道、日野バイパス、インター入口等だけが運行可能道路となっています。

くにっこミニを望む人たちの日常生活の実情はつぎの通りです。

- ・最寄の谷保駅、矢川駅へは徒歩、または自転車、タクシーで行く。
- ・道路は狭く車の交通量が多いため子どもから大人まで身の危険を感じながら通っている。
- ・ハケがあるため、地下道の階段をのぼり、自転車のときは押して通る。甲州街道の狭い歩道は自転車を避けながら通る。谷保天満宮の石段をのぼる。年と共に辛く、車の免許証を返却した高齢者などは外出がおっくうになり家に閉じこもりがちになっている。
- ・石神街道は道路が狭く車とすれ違う時は塀にへばりつき、雨の日は傘をたたみ車の通過を待つ。
- ・子どもや女性の夜間通行は墓地や天満宮付近、農道等を通るため身の危険を感じて通っている。
- ・買い物、通院はハケを上り下りしないで済むところに変更している。

2. 国立市交通課の説明および国立市地域公共交通会議の「見直し案」を受けて

くにっこミニの運行は利潤を追求する事業ではなく福祉を目的にしており、路線バスが運行されていない地域、交通に困難をかかえている地域が優先されるべきと考えます。また住民の利用目的は多様化しており順位だけで判断するのではなく限られた運行台数の中では最寄駅への運行を優先させることを基本にすべきと考えます。したがって

- 1) 谷保駅および矢川駅への運行ルートを優先させるべきと考える。
- 2) 当初より既3ルートの見直しと同時に南部地域へ迂回することを要望しており、泉ルートが変更したことを受け「城山さとのいえ」または「国立三中周辺」への迂回を要望する。
- 3) 利用料金は一律100円として欲しい。（他交通機関への接続を目的としているため）

以上

